

令和 8 年度
事業計画書

公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

令和8年度事業計画

《概 要》

北九州市は、令和7年1月に策定した「北九州市文化芸術推進プラン」に掲げる基本理念「まちに彩を。心に豊かさを。多様な人を惹きつける文化共創都市」を実現するため、文化芸術の力を最大限活用し、政策を展開していくこととしている。

当財団では、北九州市の文化芸術政策における理念や方針を尊重するとともに、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営や文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

さらに、文化に関する情報を広域かつ幅広い層に発信し、地域文化の振興に寄与していく。

I	文化創造事業の実施.....	6
1	舞台芸術の振興.....	6
2	音楽文化の振興.....	13
3	芸術文化情報の収集及び提供事業.....	18
4	北九州市文化芸術活動活性化支援事業.....	19
II	芸術文化施設の管理.....	19
III	市有施設の維持管理.....	19
IV	埋蔵文化財の発掘調査研究.....	20
1	埋蔵文化財の発掘調査及び整理.....	20
2	埋蔵文化財調査報告書の刊行.....	20
3	埋蔵文化財に関する調査研究.....	20
4	埋蔵文化財に関する普及活動.....	21
5	北九州市立埋蔵文化財センターの維持管理.....	21
V	地域文化の情報提供.....	22
1	北九州市芸術文化情報サイト管理運営.....	22
2	書籍の販売等.....	22
VI	寄付制度.....	22

Ⅰ 文化創造事業の実施

当財団が、令和7年度から指定管理者として運営する北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の3つの芸術文化施設等を中心に、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

1 舞台芸術の振興

北九州市の舞台芸術の拠点施設である北九州芸術劇場において、「創る（創造事業）」「育つ（学芸事業）」「観る（公演事業）」「支える（支援事業）」をコンセプトに、市民の多様なニーズに対応した事業を実施する。

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公 1-1(1)</div> 「Re：北九州の記憶」	①リーディング公演「7つのまちの物語」リサーチ・取材・戯曲創作 小倉北区・南区 通年 ②北九州芸術劇場＋市民共同創作劇 未来へつなぐ物語 「石炭の走る街」 12月	地域の劇作家と共に高齢者の記憶を演劇的手法で後世へ継承していく取組として、平成 24 年度より実施する「Re：北九州の記憶」。この蓄積をもとに、新たに「まちの記憶」を掘り起こし戯曲化・舞台化していく事業、これまで生まれた戯曲から学校鑑賞作品を創作(再演)し次世代へ継承していく事業、の 2 事業を展開するもの。 【参加アーティスト】 ①藤原達郎、溝越そら ほか ②山口大器ほか
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公 1-1(1)</div> キタゲキローカルアーティスト協働プログラム	北九州芸術劇場 小劇場 2月20日(土)～21日(日) 3公演	劇場と地域で活躍するアーティストとが2年間協働し、オリジナルの市民参加作品を創作する新シリーズの第2弾。舞台芸術の力を活用し“市民との交流や体験を行う”1年目、1年目の活動をもとに“市民と共に作品を創作・上演する”2年目、のうち2年目。 【ローカルアーティスト】 山口大器
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公 1-1(1)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公 1-1(3)</div> まち企画プレ事業（仮）	市内施設ほか 1月～3月	コロナ禍を経て、改めて地域へアートの魅力を発信すること、全国へ向けて北九州市の魅力を発信することを目指し、令和9年度に行うアートフェスティバル企画のプレ事業。演劇・ダンスを軸に、市民参加による作品創作ワークショップや、まちなかでのフラッシュモブを実施するもの。 【参加アーティスト（予定）】 青野大輔、穴迫信一、有門正太郎、今村貴子、乗松薫

(2)学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

事業名	場所・時期等	内容等
<p>公 1-1(3)</p> <p>キタ Q アーティストふれあいプログラム</p>	<p>市内小・中学校、特別支援学校、特別支援学級 9月～2月</p>	<p>第一線で活躍するアーティストと市内の学校へ出かけ、演劇・ダンスのアウトリーチプログラムを実施。未来を担う子どもたちが、舞台芸術や多様な価値観をもつアーティストと出会いふれあうことで、創造力や表現力を育み、豊かな個性を伸ばす手助けとなることを目指すもの。</p> <p>【アーティスト】 (演劇) 有門正太郎、福田修志、守田慎之介 (ダンス) 今村貴子、大島匡史朗、セレノグラフィカ、長与江里奈、乗松薫</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>ひとまち+アーツ協働事業</p>	<p>①図書館協働プログラム 北九州市立八幡図書館 6月～2月 ②高齢者生きがいプログラム 北九州芸術劇場 小劇場、創造工房 6月～2月 ③市民センター協働プログラム 市内市民センター 6月～2月</p>	<p>芸術分野やそれ以外の施設や団体、アーティストと協働し、地域が抱える課題等について、中長期的なビジョンを共有しながら、その解決に向かうプログラムを実施。劇場が培ってきた専門知識やノウハウ、アーティストや舞台芸術の持つ想像力・創造性を活かし、人と人、人とまちを繋ぎ、本市に暮らす誰もが心豊かな生活をおくる環境を提案していくもの。</p> <p>【アーティスト】 ①守田慎之介 ②セレノグラフィカ、多田淳之介 ③有門正太郎、乗松薫</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>インクルーシブな劇場推進プロジェクト</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場、小劇場ほか 6月～11月</p>	<p>より地域に開かれ、地域とともに育つ劇場となることを目指し行う新規事業。誰もが自分らしく文化芸術を楽しみ、自由に表現できる「インクルーシブな劇場」の実現を目指し、聴覚や視覚に障害がある方など劇場に足を運びづらいと感じている方々を対象に、ダンス・演劇のワークショップを実施するもの。</p> <p>【アーティスト】 白神ももこ、百田彩乃 ほか</p>

<p style="text-align: center;">公 1-1(3)</p> <p>高校生のための演劇塾</p>	<p>すべて北九州芸術劇場内 [①戯曲講座] 5月～7月 [②演技・演出講座] 8月4日(火)～6日(木) [③舞台技術講座(モギテク)] 8月22日(土)～23日(日)</p>	<p>高等学校芸術・文化連盟演劇部門北九州市部との共催で、高校生のための「演劇づくり」の基礎講座を実施。地域の演劇人や劇場スタッフを講師とした3種の体験型講座・講習を通して、未来の演劇人の創出および北九州地区高校演劇部のレベル向上を図るもの。</p> <p>【ディレクター】 守田慎之介 【講師】 ①山口大器 ②飯野智子、今村貴子、寺田剛史、門司智美、山口大器 ③北九州芸術劇場テクニカルスタッフ</p>
<p style="text-align: center;">公 1-1(3)</p> <p>舞台芸術表現者育成事業 「キタゲキスクール2026」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場、創造工房 5月～12月</p>	<p>高校卒業後の若年層をターゲットに、舞台芸術を体系的に学ぶ場をつくり、地域の舞台芸術を担う次世代を養成するプログラム。国内の第一線で活躍する実演家や地域の表現者を講師に迎え、ワークショップ等の体験からアートマネジメントや文化政策などの知識習得、最終的には演劇作品の創作発表までを行うもの。</p> <p>【対象】 18歳以上 25歳以下の表現活動や舞台芸術に興味がある方 【総合ディレクター】 守田慎之介 【サブディレクター】 青野大輔 【講師】 有門正太郎、セレノグラフィカ、田上豊、田村一行、土田英生、泊篤志、内藤裕敬、山口大器、北九州芸術劇場テクニカルスタッフ 他</p>
<p style="text-align: center;">公 1-1(3)</p> <p>地域コーディネーター育成プログラム</p>	<p>北九州芸術劇場 市内施設ほか 通年</p>	<p>劇場が培ってきた事業ノウハウを活かし、芸術文化やそれ以外の様々な分野で活動する人々を広く募り、仲間づくりを行うと共に、芸術文化を核にした地域の活性化を共に考え、実行できる人材を育成する3か年プログラムの最終年度。令和7年度に参加者が立案した企画を種に地域の中で実践を目指すもの。</p> <p>【対象】 文化・芸術活動に興味を持つ地域住民、公共ホール職員など 【アーティスト・講師】 有門正太郎、大澤寅雄ほか</p>

<p>公 1-1(3)</p> <p>劇場制作実習プログラム</p>	<p>北九州芸術劇場 通年</p>	<p>地域に根づく文化施設として、施設や業務について実践を通して知る機会を提供するプログラム。一般に知られる機会の少ない劇場の制作業務を一定期間体験し、そこで働く人々と触れ合うことで、業務内容や施設への理解を深めるとともに、これからの劇場や地域の舞台芸術を担う人材の発掘につなげるもの。</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>創造支援事業 演カツ！！2026</p>	<p>北九州芸術劇場 創造工房 通年</p>	<p>演劇・演舞の活動・活躍・活性＝「演カツ」の場として、劇場内の稽古場を個人または団体へ貸し出し、創造環境の支援を行う事業。地域のアーティストたちの新たな表現活動への取組や、様々な知識・ノウハウ獲得のサポートを目的として実施するもの。</p>

(3)公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
<p>公 1-1(2)</p> <p>ケムリ研究室 no.5「サボテンの微笑み」</p>	<p>北九州芸術劇場 中劇場 5月2日(土)～3日(日) 3公演</p>	<p>劇作家、演出家、音楽家など多方面で活躍する演劇界の奇才、ケラリーノ・サンドロヴィッチと、俳優の緒川たまきによるユニットの新作公演。主宰の緒川たまきのほか、福岡出身の瀬戸康史など彩り豊かな俳優陣とともに、昭和初期の日本を舞台にある兄妹とその家を訪れる人々の姿を描く。 【作・演出】 ケラリーノ・サンドロヴィッチ</p>
<p>大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ 2026 KAAT キッズ・プログラム 2026 「さかさまの世界」</p>	<p>公 1-1(2)</p> <p>北九州芸術劇場 小劇場 5月16日(土) 2公演</p> <p>公 1-1(3)</p> <p>※関連ワークショップ実施</p>	<p>欧州を中心に活躍し、ダンス界で高い評価を得る伊藤都女が、子どもたちの様々なくひみつ話>を素材に創作するダンス作品。ポディーペインティングのような自由な表現やアーティストと観客の交流など、幅広い世代の感性を刺激し、観客それぞれの視点で自由に楽しめるプログラム。 【構成・振付・演出】 伊藤都女</p>
<p>公 1-1(2)</p> <p>NODA・MAP 第28回公演 「華氏マイナス320°」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 6月6日(土)～14日(日) ※9日休演 8公演</p>	<p>80年代日本の小劇場ブームを牽引し、現代演劇界のトップランナーとして走り続ける劇作家・演出家の野田秀樹率いる人気カンパニーによる待望の新作公演。阿部サダヲ、広瀬すず、深津絵里ら豪華キャストとともに、虚構と現実の狭間を縦横無尽に行き来する圧倒的な劇世界を描く。 【作・演出】 野田秀樹</p>

<p>大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ 2026</p> <p>おどる絵本「みえるとかみえないとか」</p>	<p>公 1-1(2)</p> <p>北九州芸術劇場 中劇場 8月8日(土) 1公演</p> <p>公 1-1(3)</p> <p>※関連ワークショップ実施</p>	<p>ダンスと演劇を融合させ、大人から子どもまで楽しめる祝祭的な世界をつくるスズキ拓朗が、人気絵本『みえるとかみえないとか』(ヨシタケシンスケ作)を題材に創作するダンス作品。とある宇宙の別の星に迷い込んだ「ひと」を軸にしながら、視点や感じ方の「ちがい」をテーマに贈る物語。</p> <p>【振付・構成・演出】 スズキ拓朗</p>
<p>Q「キティ」</p>	<p>公 1-1(2)</p> <p>北九州芸術劇場 中劇場 9月26日(土) 1公演</p> <p>公 1-1(3)</p> <p>※関連ワークショップ実施</p>	<p>社会における不可解なタブーや性を巡る矛盾を、大胆不敵かつ繊細に問い続ける気鋭の劇作家・演出家 市原佐都子作品を、自身が育った北九州で初上演。現代社会が内包する不条理や滑稽、欲望のグローバルな均一化を、日本・韓国・香港の俳優陣がセンセーショナルに問いかける。</p> <p>【作・演出】 市原佐都子</p>
<p>公 1-1(2)</p> <p>「リア王」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 10月31日(土)～11月1日(日) 2公演</p>	<p>エンターテインメントから社会派作品まで、多様な作品を手掛け日本演劇界に確固たる足跡を残す演出家 森新太郎が、シェイクスピア四大悲劇のひとつ「リア王」を初演出。主演に内野聖陽を迎え、老いや権力への執着、古代から現代まで人間が乗り越えることのできない葛藤を、鋭い眼差しで描き上げる。</p> <p>【原作】ウィリアム・シェイクスピア 【演出】森新太郎</p>
<p>「他人」</p>	<p>公 1-1(2)</p> <p>北九州芸術劇場 小劇場 11月22日(日)～23日(月祝) 2公演</p> <p>公 1-1(3)</p> <p>※関連ワークショップ実施</p>	<p>日本の演劇人を育てるプロジェクト「日本の劇」戯曲賞で最優秀賞を受賞した竹田モモコによる戯曲を、関西小劇場界を牽引する演出家 内藤裕敬が手掛けた話題作の再演。音楽を用いず、台詞と観客の想像力に委ねた古典的でありながら斬新な劇世界で、三人の女性の奇妙な同居生活を描く。</p> <p>【作】竹田モモコ 【演出】内藤裕敬</p>
<p>公 1-1(2)</p> <p>「ラヴェル最期の日々」 (響ホールとの共同実施)</p>	<p>響ホール 1月9日(土) 1公演</p>	<p>音楽を軸とした作品創作に定評がある東京文化会館が、若い世代のホールデビューを視野に創作したプログラムの再演。「ボレロ」などで知られるフランスの作曲家モーリス・ラヴェルの波乱に満ちた生涯を、音楽×演劇×ダンスのコラボレーションで立ち上げる。</p> <p>【音楽監督・作編曲・ピアノ】 加藤昌則 【演出・脚本】岩崎正裕 【振付・ダンス】小尻健太</p>

(4)提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業連携等により、様々なジャンルの公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
<p>公 1-1(5)</p> <p>【協力】 「メアリー・ステュアート」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 5月9日(土)～10日(日) 3公演</p>	<p>数々の演出家が演出を手掛けてきた、ドイツの劇作家フリードリッヒ・シラーによる名作を栗山民也の演出で日本初演。時代に翻弄された2人の女王を巡る王室悲劇を、宮沢りえ、若村麻由美ら豪華キャストで描き上げる。 【原作】フリードリッヒ・シラー 【演出】栗山民也</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【協力】 彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd Vol.3 「リア王」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 6月19日(金)～21日(日) 4公演</p>	<p>故・蜷川幸雄のバトンを引き継ぎ、2024年から吉田鋼太郎が手掛ける「彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd」の第三弾。主演：吉田鋼太郎×演出：長塚圭史で新たな歴史を刻む。 【原作】ウィリアム・シェイクスピア 【演出】長塚圭史</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【協力】 パルコ・プロデュース 2026 「カッコーの巣の上で」</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 7月18日(土)～19日(日) 3公演</p>	<p>1960年代の精神病院を舞台に人間の尊厳や社会の不条理を描き、これまで世界各国で映画化・舞台化された名作小説に、北九州市出身の演出家 松尾スズキが挑む注目作。 【原作】ケン・キージー 【演出】松尾スズキ</p>
<p>【協力】 公 1-1(5)</p> <p>JCDN ワークショップ企画 「ダンス作品を創る人のための5日間の集中ワークショップ(仮題)」</p>	<p>北九州芸術劇場 稽古場・セミナールーム 8月26日(水)～30日(日)</p>	<p>ダンスの創造支援や普及に取り組むNPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワークが実施する、振付家の発掘と育成のための短期集中ワークショップ。</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【提携】 飛ぶ劇場「新作」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場 10月23日(金)～25日(日) 4公演</p>	<p>北九州を拠点に結成 35年を超える老舗劇団、飛ぶ劇場の新作公演。時代を鋭く切り取る社会性とエンターテインメント性の高さで老若男女に人気を博す。 【作・演出】泊篤志</p>
<p>【協力】 公 1-1(5)</p> <p>大ホール作品</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール 12月</p>	<p>調整中</p>
<p>公 1-1(5)</p> <p>【提携】 PUYEEY 7th season 10周年記念公演 「おんたろうズ3(仮)」</p>	<p>北九州芸術劇場 小劇場 1月22日(金)～24日(日) 4公演</p>	<p>福岡を拠点に活動する高野桂子と五島真澄による演劇的パフォーマンスユニット PUYEEY の新作公演。人々が「本当の声を出すこと」をテーマに綴る人気シリーズの最終章。 【作・演出・出演】高野桂子 【音楽・出演】五島真澄</p>

【協力】 歌舞伎公演	公 1-1(5)	北九州芸術劇場 大ホール 3月8日(月) 1公演	調整中
【提携】 ゴジゲン 第21回公演 「ユリちゃんビヨンド (仮)」	公 1-1(5)	北九州芸術劇場 小劇場 3月4日(木)~7日(日) 5公演	北九州市出身の劇作家・演出家であり、映画やTVドラマの監督のほか、ラジオパーソナリティなど、多彩な才能で活躍する松居大悟率いる劇団。約5年ぶりの北九州公演。 【作・演出】 松居大悟
【協力】 大ホール公演	公 1-1(5)	北九州芸術劇場 大ホール 3月	調整中

(5) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
創造支援事業 演カツ!!2026 ＜再掲＞	(2) 学芸事業 参照	
飛ぶ劇場「新作」 ＜再掲＞	(4) 提携・協力事業 参照	
PUYEV 「おんたろうズ3(仮)」 ＜再掲＞	(4) 提携・協力事業 参照	

(6) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
公 1-1(2) 公 1-2 第56回 北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場	市内市民会館(門司・戸畑・若松、黒崎ひびしんホール、北九州芸術劇場大ホール) 5月19日(火)~26日(火) 7公演	劇団角笛による、幻想的で色鮮やかな影絵劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供。
公 1-1(2) 公 1-2 人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館 大ホール 3月10日(水) 2公演	太夫、三味線、人形の三位一体が織りなす情緒豊かな日本の伝統芸能として、ユネスコ世界無形文化遺産にも登録された日本の伝統芸能「文楽」の公演を実施。

(7) その他

地域に開かれた劇場として、気軽に劇場へ足を運べる取り組みや、劇場と市民との懸け橋となる市民ボランティア「キタゲキサポーター」活動の推進、これまでに創作したオリジナル作品の上演会等を通し、舞台芸術の裾野を広げる機会を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
公 1-1(3) キタゲキヒラクプロジェクト	北九州芸術劇場 通年	空き日を活用した施設開放などに取り組む。

2 音楽文化の振興

北九州市の音楽文化の中核施設である響ホールにおいて、「創造と発信（創造・公演事業）」「育成と継承（育成事業）」「地域連携による心豊かな社会の実現（連携・支援・地域文化振興事業）」をミッションに事業展開し、市民の多様なニーズに応え、音楽文化の振興を行う。

(1) 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを創造し、発信力の高い音楽文化の振興に取り組み、地域の音楽文化を牽引する企画制作を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
響ホールへようこそ！ ②みんなのうた ころのうた ③チェロ&コントラバス 低音の魅力 ④響ホール室内合奏団	公 1-1(2) 響ホール ②8月7日(金) ③9月3日(木) ④1月 調整中 関連事業 みんなのコンサートⅢ	平日昼の響ホールでトーク付き60分コンサートを開催し、新たな顧客層の開拓とクラシック音楽の魅力発信、そして響ホールのPRを図る。また、本市出身の演奏家を起用するなど地域に根差した取り組みを進め、地元演奏家の支援と音楽文化の振興につなげる。併せて、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指し、訪問コンサートも実施する。
2026北九州国際音楽祭 特別プログラム まるっと Enjoy! 響ホールで夏休み	公 1-1(2) 響ホール 8月16日(日) 関連事業 まるさんのヴァイオリンが上手くなるひみつ	3歳以上対象で入場無料。気軽に参加して本格的なクラシック音楽鑑賞などを楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に開催する。
2026北九州国際音楽祭 森谷真理[ソプラノ] 林美智子[メソソプラノ] 西村 悟[テノール] 加来 徹[バリトン] 河原忠之[ピアノ]	公 1-1(2) 響ホール 10月10日(土) 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座	本市が取り組む「うたのまち北九州市」にちなむ企画。国内トップメンバーによるコンサート形式でのヴェルディの歌劇「椿姫」(抜粋)を上演。本格的なオペラ鑑賞の機会が少ない本市にとっては貴重な機会。
2026北九州国際音楽祭 サロン・コンサート 調整中	公 1-1(2) 西日本工業倶楽部 10月または11月 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座	地域の財産である国定重要文化財の西日本工業倶楽部を会場とする例年人気のコンサート。
2026北九州国際音楽祭 ×出光美術館 門司 西山まりえ[チェンバロ]	公 1-1(2) 出光美術館 門司 イベントホール 10月26日(月) 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座	出光美術館門司のリニューアル10周年記念企画として、「水墨画の巨匠」展に合わせ、水墨画とチェンバロの歴史や美学を対比しつつ、学芸員と演奏者によるトークイベントを実施する。
2026北九州国際音楽祭 マイスター・アールト× ライジングスター オーケストラ コンサートマスター ：篠崎史紀	公 1-1(2) 響ホール 11月21日(土) 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座 みんなのコンサートⅢ	音楽祭のオリジナルオーケストラによる名物企画。コンサートマスターは、本市出身で文化大使の篠崎史紀が務め、メンバーは、国内主要オーケストラのトップ奏者と新進気鋭の若手奏者により構成。13回目の演奏会。
響シリーズⅣ バロック弦楽アンサンブル 篠崎史紀、双紙正哉[ヴァイオリン]、 佐々木亮[ヴィオラ]、 笹沼 樹[チェロ]、菅沼希望[コントラバス]ほか	公 1-1(2) 響ホール 2月6日(土)	音楽祭のマイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ メンバーによるスピンオフ企画。バロック弦楽アンサンブルに挑戦し、音楽祭での公演とは異なる新たな魅力を探る。

(2) 公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
響シリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ ①チョ・ソンジン[ピアノ] ②ユジャ・ワン[ピアノ] ③樫本大進[ヴァイオリン] 小菅 優[ピアノ] クラウディオ・ボルケス [チェロ]	公 1-1(2) 響ホール ①5月16日(土) ②6月6日(土) ③7月5日(日)	世界のトップレベルのアーティストによる2時間のコンサート。 各コンサートともに、日本国内での公演数が限られており、貴重性の高いコンサートである。
響ホールへようこそ! ①壺阪健登 [ジャズ・ピアノ]	公 1-1(2) 響ホール ①5月27日(水) 関連事業 みんなのコンサートⅢ 訪問コンサート	壺阪健登は、現在の日本ジャズ界で最も注目される若手ピアニストの一人。トーク付き 60 分のコンサートで、ジャズ初心者から愛好者までが気軽に楽しめる機会となる。音楽ファンの裾野拡大を目指して訪問コンサートも実施する。
2026 北九州国際音楽祭 服部百音 [ヴァイオリン] ウラジーミル・ヴィシュネフスキー [ピアノ]	公 1-1(2) 響ホール 9月23日(水祝) 関連事業 中学生の鑑賞教室	服部百音は、国際的に活躍する若手ヴァイオリン奏者の一人。国内外で高い評価を受けており、本市には初めての登場となり、新しい才能を紹介する機会となる。
2026 北九州国際音楽祭 毛利文香[ヴァイオリン] 上野通明[チェロ] アレクサンダー・ガジェヴ [ピアノ]	公 1-1(2) 響ホール 10月3日(土)	ショパン・コンクールで最高位、令和5年度の音楽祭でリサイタルを行ったガジェヴが、ピアノ・トリオで再登場。このメンバーでの演奏は、この機会だけの貴重な演奏会。
2026 北九州国際音楽祭 戸澤采紀[ヴァイオリン] 近衛剛大[ヴィオラ] 佐藤晴真[チェロ] 牛田智大[ピアノ]	公 1-1(2) 響ホール 11月14日(土) 関連事業 中学生の鑑賞教室	ピアノの牛田智大を中心とする、新進気鋭の若手演奏家による室内楽。全曲リヒャルト・シュトラウスをプログラムとし、挑戦的な公演。牛田の新たな一面を聴くことができる機会となる。
響シリーズ【共同実施】 スペシャル・コンサート 福川伸陽、高橋臣宜、信末碩 才、鈴木 優[ホルン] 山中惇史[ピアノ] 調整中[打楽器奏者]	公 1-1(2) 響ホール 11月29日(日)	元 NHK 交響楽団首席ホルン奏者で国際的に活躍する福川伸陽を中心にした室内楽公演を開催する。音楽事務所との共同による実施とする。
2026 北九州国際音楽祭 スペシャル・プログラム 奇跡のチェロ・アンサンブル 辻本玲、伊藤悠貴、小林幸太 郎、伊東裕、岡本侑也、上野通 明	公 1-1(2) 響ホール 12月26日(土) 関連事業 みんなのコンサートⅢ 訪問コンサート	結成10周年を迎え、人気・実力ともに高い8名のチェロ奏者によるアンサンブルが九州に初登場する。ユニット名は、多忙なメンバーが集まり公演を実現できることが「奇跡的」であることに由来している。

<p>「ラヴェル最期の日々」 (北九州芸術劇場との 共同実施)</p> <p style="text-align: right;"><再掲></p>	<p>響ホール 1月9日(土)</p>	<p>音楽を軸とした作品創作に定評がある東京文化会館が、若い世代のホールデビューを視野に創作したプログラムの再演。「ボレロ」などで知られるフランスの作曲家モーリス・ラヴェルの波乱に満ちた生涯を、音楽×演劇×ダンスのコラボレーションで立ち上げる。 【音楽監督・作編曲・ピアノ】加藤昌則 【演出・脚本】岩崎正裕 【振付・ダンス】小尻健太</p>
--	-------------------------	--

(3) 育成事業

鑑賞者、アーティスト、アーツスタッフなど幅広く文化芸術の担い手を育成し、次世代に音楽文化を継承する。

事業名	場所・時期等	内容等
<p>公 1-1(3)</p> <p>楽しみかた聴きどころ講座 ①まるさんが見る次世代のクラシック音楽の世界 ②クラシックコンサートへ行こう！ ③響ホールの音響について ④北九州国際音楽祭へ行こう！</p>	<p>①北九州市科学館分館 5月31日(日) ②響ホール 6月21日(日) ③響ホール 8月1日(土) ④西日本工業大学 小倉キャンパス 9月6日(日)</p>	<p>講座を通じて、響ホールの年間ラインナップ(北九州国際音楽祭含む)の各公演内容などを細やかに発信する。聴衆の育成やこれまで音楽に馴染のない方が親しむきっかけの場として、普及、啓発、振興、教育などの役割を担う。また、公演の広報宣伝の場としても活用する。 ①篠崎史紀 ①②④広瀬大介 ③(株)永田音響設計 石渡智秋</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>アーツスタッフ養成講座 ①知的財産講座 ②サポートが必要な方への 接遇講座(2回)</p>	<p>響ホール ①6月17日(水) ②12月17日(木)~18日(金)</p>	<p>①知的財産の取り扱い方を学ぶための講座。 【講座】 明倫国際法律事務所 田中雅敏[弁護士・弁理士] ②サポートが必要なお客様への理解と対応方法を学ぶための講座(2回)。 【講師】 (一社)生き方のデザイン研究所 遠山昌子[代表理事] ほか</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>2026北九州国際音楽祭 特別プログラム まるさんのヴァイオリンが上手くなるひみつ</p>	<p>響ホール・リハーサル室 8月15日(土)</p>	<p>本市出身の元NHK交響楽団コンサートマスター篠崎史紀によるヴァイオリン愛好者を対象としたレッスンを行い、その様子を一般公開する。</p>
<p>2026北九州国際音楽祭 特別プログラム まるっと Enjoy! 響ホールで夏休み <再掲></p>	<p>響ホール 8月16日(日)</p>	<p>3歳以上対象で入場無料。気軽に参加して本格的なクラシック音楽鑑賞などを楽しめるイベント。響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に開催する。</p>
<p>公 1-1(3)</p> <p>2026 北九州国際音楽祭 教育プログラム ①幼稚園の訪問コンサート ②小学生の鑑賞教室</p>	<p>会場調整中 ①②11月18日(水)</p>	<p>音楽祭出演者による訪問コンサート。“生の音楽を聴く、体感する”を主眼に実施する。演奏者による楽器や曲目の話を交えながら、分かりやすく楽しめる内容とする。</p>

公 1-1(2) 2026 北九州国際音楽祭 特別プログラム プレ・コンサート	響ホール 11月21日(土)	開演前にオーケストラメンバーにより 金管・木管アンサンブル、弦楽合奏な どのプレ・コンサートを行う。
公 1-1(2) みんなのコンサートⅠ インクルーシブ・コンサート 九州交響楽団打楽器奏者 古橋果林[ナビゲーター]	響ホール 2月中旬(2日間)	障がいの有無にかかわらず、大人から 子どもまで誰でも楽しめる音楽コン サート。
公 1-1(2) みんなのコンサートⅡ オーケストラ for キッズ	北九州芸術劇場 大ホール 2月20日(土)	九州交響楽団と共催して行う3歳以上 対象の有料公演。オーケストラならで はの大迫力のサウンドを体験する。
公 1-1(3) 2026 北九州国際音楽祭 特別プログラム コンサート・スタンプラリー	音楽祭有料プログラム会場 音楽祭期間中	3つ以上の対象コンサートのスタンプ を集めた方に、抽選で出演者のサイン 色紙などをプレゼントする。来場者の 本音楽祭への愛着心を育て、リピー ターの増加を目指す。
公 1-1(3) ハーブ研究会	[レッスン] 響ホール 月2回(40分/回)	ハーブに興味を持つ市民に対し、ハー ブ演奏を学ぶ機会の提供を目的として 実施する。
公 1-1(3) チェンバロ教室	[レッスン] 響ホール 月2回(40分/回)	響ホールのチェンバロを市民に広く周 知するとともに、チェンバロ演奏を学 ぶ機会の提供を目的として実施する。

(4)連携事業

音楽の力を活かし、様々な団体等と交流・連携・協働しながら、地域の活性化や教育・福祉の充実など、彩りある心豊かな社会の実現と魅力あるまちづくりに貢献する。

事業名	場所・時期等	内容等
公 1-1(3) みんなのコンサートⅢ 訪問コンサート	市内小学校、特別支援学校 障害者施設ほか 通年	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目 指すため、「響ホールへようこそ！」 「北九州国際音楽祭」の出演者による 訪問コンサートを実施する。 (14公演)
公 1-1(3) 北九州吹奏楽連盟との連携 中学生吹奏楽講習会	響ホール 6月7日(日)	北九州吹奏楽連盟と連携し講習会を実 施する。 【講師】 調整中
公 1-1(3) 北九州中学音楽研究会との連携 中学生合唱講習会	響ホール 7月22日(水)~23日(木)	北九州市中学校音楽教育研究会との共 同主催にて、中学生及び合唱団のため の合唱講習会を実施する。 【講師】 田中安茂(合唱指揮者)
公 1-1(3) 東京藝術大学との連携 早期教育プロジェクト 2026 in 北九州	響ホール 8月23日(日)	東京藝術大学音楽学部の講師による公 開レッスンを実施する。 【講師】 植村太郎(ヴァイオリン)

出光美術館門司との連携企画 2026 北九州国際音楽祭 西山まりえ [チェンバロ] ＜再掲＞	出光美術館 門司 イベントホール 10月26日(月) 関連事業 楽しみかた聴きどころ講座	出光美術館門司のリニューアル10周年記念企画として、「水墨画の巨匠」展に合わせ、水墨画とチェンバロの歴史や美学を対比しつつ、学芸員と演奏者によるトークイベントを実施する。
公 1-1(3) 年長者研修大学校との連携事業	響ホール 12月14日(月)～15日(火)	年長者研修大学校 周望学舎・穴生学舎と連携。音楽コース受講者へ、響ホールの特色や取り組みの紹介、日頃の成果発表の場の提供などを通じ、響ホールへの愛着醸成を図る。
みんなのコンサートⅡ オーケストラ for キッズ ＜再掲＞	北九州芸術劇場 大ホール 2月20日(土)	九州交響楽団と共催して行う3歳以上対象の有料公演。オーケストラならではの迫力のサウンドを体験する。
公 1-1(3) 北九州国際音楽祭組織委員会	通年	本市の財界、音楽界、教育界等の代表団体より参画を得て、北九州国際音楽祭へ地元ニーズを反映するとともに、本市の活性化に寄与する。

(5) 支援事業

地域文化の振興を図るため、市民の音楽活動を支援する取り組みを行う。

事業名	場所・時期等	内容等
公 1-1(3) 2026 北九州国際音楽祭 協賛事業	9月～12月	本市におけるクラシック音楽文化等を盛り上げることを目的として、9月～12月に北九州市内の施設で実施されるクラシック音楽等のコンサートを対象に、北九州国際音楽祭協賛事業（冠事業）の公募を実施。
北九州吹奏楽連盟との連携 中学生吹奏楽講習会 ＜再掲＞	響ホール 6月7日(日)	北九州吹奏楽連盟と連携し講習会を実施する。 【講師】 調整中
北九州中学音楽研究会との連携 中学生合唱講習会 ＜再掲＞	響ホール 7月22日(水)～23日(木)	北九州市中学校音楽教育研究会との共同主催にて、中学生及び合唱団のための合唱講習会を実施する。 【講師】 田中安茂(合唱指揮者)
公 1-2 響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス(9人乗り)を運行し、響ホールへのアクセスの利便性向上を図る。 (主催者一部負担 3,900円)

(6)地域文化振興事業(市受託事業)

事業名	場所・時期等	内容等
公 1-2 第50回 北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館 大ホール 7月5日(日)	市内外の少年少女合唱団が一堂に会して発表する。
公 1-1(2) 公 1-2 第47回北州市レディース コーラスフェスティバル	響ホール 3月6日(土)	市内外のレディースコーラスグループが一堂に会して発表する。
公 1-1(2) 公 1-2 合唱組曲「北九州」演奏会	北九州芸術劇場 ホール 2月28日(日)	ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会。 【出演(予定)】北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか
公 1-1(3) 公 1-2 北九州市少年少女合唱団 育成事業	[練習] 大手町練習場ほか 毎週土曜日14時から [公演] 第52回定期演奏会 戸畑市民会館 大ホール 12月13日(日)	合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。
公 1-1(3) 公 1-2 北九州市ジュニアオーケストラ 育成事業	[練習] 大手町練習場 毎月3回日曜日9時から [公演] 第43回定期演奏会 北九州芸術劇場 大ホール 8月23日(日) 第29回スプリングコンサート 北九州芸術劇場 大ホール 3月28日(日)	オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。
2026 北九州国際音楽祭 中学生の鑑賞教室 ①服部百音[ヴァイオリン] ウラジミール・ヴィシュネフスキー [ピアノ] ②戸澤采紀[ヴァイオリン] 近衛剛大[ヴィオラ] 佐藤晴真[チェロ] 牛田智大[ピアノ]	公 1-1(3) 響ホール ①9月24日(木) ②11月13日(金) 各日2公演	未来を担う青少年に一流の音楽に触れてもらうため、有料プログラムに出演する演奏者によるレクチャー付きコンサートを実施する。

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
公 1-1(5) 公 1-2 北九州芸術劇場&響ホール 「情報誌Q」の発行	年3回発行 7・11・3月10日号 各80,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、実施事業について紹介。

公 1-1(5) 公 1-2 芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	チケット & アートスペース『Q-station』及び市民ギャラリーの運営、ホームページ等で公演の情報提供等を行う。
公 1-1(5) 公 1-2 北九州芸術劇場&響ホール 会員制度	—	市民により親しまれる身近な劇場・音楽堂を目指し運営。 【特典】公演など劇場・響ホール事業に関する情報の提供、チケット先行予約、ポイント積立てによる割引等。
公 1-1(5) 公 1-2 北九州市芸術文化情報サイト「かるぽー」(ポータルサイト)の管理運営	V 地域文化の情報提供 参照	

公 1-1(4)

4 北九州市文化芸術活動活性化支援事業

(1)北九州市文化芸術次世代育成事業 TRY ARTs

本市の文化土壌の継承と発展に寄与することを目的として、市民の自主的な文化芸術活動を対象に、経費の一部を助成する。

(2)総合相談窓口事業

市内で活動する、あるいは活動を検討している文化芸術関係者(個人・団体)を対象に、さまざまな相談に対応する無料の専門相談窓口を運営し、伴走的な支援を行う。

公 1-2

II 芸術文化施設の管理

北九州市の指定管理者として、各文化芸術施設の管理を実施する。

施設名	主要施設	期間
北九州芸術劇場	大ホール、中劇場、小劇場、創造工房、芸術文化情報センター(チケット&アートスペース『Q-station』、市民ギャラリー)	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで(指定管理)
響ホール	大ホール、リハーサル室、研修室、練習室1・2	
大手町練習場	大練習室、中練習室1・2、小練習室1~8、会議室1~3	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで(指定管理)

収 2

III 市有施設の維持管理

響ホールを始めとする指定管理施設「北九州市立国際村交流センター」について、利用者・入居者が安全・快適に利用することができるよう適切に維持管理を行う。

施設名	入居施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、北九州国際技術協力協会、アジアカーボンニュートラルセンター(環境局環境国際戦略課)、地球環境戦略研究機関、資源環境ネットワーク、駐車場	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで(指定管理)

IV 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

公 2-2(1)

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

事業名	遺跡名	区分	面積㎡	遺跡の概要
令和8年度 折尾土地区画整理事業 (20・21街区)	菅原神社遺跡	発掘	918	集落跡
令和8年度 折尾土地区画整理事業(折尾 駅南口線)	菅原神社遺跡	発掘	630	集落跡
令和8年度 折尾土地区画整理事業(3号 街区公園)	左近田遺跡	発掘	790	集落跡
大門木町線(大手町第2工区)街路事業	大手町遺跡	発掘	500	町屋跡
商業施設建設(京町二丁目)	京町遺跡	発掘	300	城下町跡
建物建設(金鶏町)	屏賀坂遺跡	発掘	785	集落跡
建物建築(北方二丁目)	北方遺跡	発掘	816	集落跡
門司港地域複合公共施設建設事業(令和5 年度・6年度分)	旧門司駅舎跡	整理 (2年目)	—	近代駅舎
旦過地区土地区画整理事業(令和6年度 分)	魚町遺跡第3地点 3区	整理 (2年目)	—	城下町跡
折尾土地区画整理事業(堀川地区、17街 区)(令和6年度・令和7年度分)	菅原神社遺跡 11区・12区	整理	—	集落跡
工場・店舗建設(穴生二丁目)	穴生諏訪遺跡	整理 (1年目)	—	集落跡
合 計		発掘 7件	整理 4件	4,739

公 2-2(1)

2 埋蔵文化財調査報告書の刊行

門司港地域複合公共施設建設事業など 全3冊・3事業

公 2-2(1)

3 埋蔵文化財に関する調査研究

年報及び研究紀要の発刊

4 埋蔵文化財に関する普及活動

埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

事業名	場所・時期等	内容等
速報展	埋蔵文化財センター 年1～2回程度	最近の調査で出土した埋蔵文化財を展示する。
遺跡発掘報告会	場所：未定 年1回	当年度に実施した発掘調査のうち、話題性の高い遺跡などを紹介する。
現地説明会	場所：発掘現場予定 年1回予定	市民を対象として、話題性が高く重要な遺跡で発見された遺構や出土遺物について、学芸員が現地で説明を行う。
考古学講座	埋蔵文化財センター 年1～2回予定	市民を対象とした北九州市内の遺跡および遺構、遺物をテーマにとりあげ、考古学や地域の歴史について学ぶ講座や、小学生～中学生を対象に、北九州市内の遺跡や遺物に関連した工作や実技を通じて、考古学や地域の歴史を楽しく学ぶ体験型講座を行う。

5 北九州市立埋蔵文化財センターの維持管理

北九州市からの委託を受け、埋蔵文化財センターの維持管理を行う。

施設名	主要施設	期間
北九州市立埋蔵文化財センター	展示室、整理作業室、事務室、収蔵庫	令和8年4月1日から 令和9年3月31日まで

※埋蔵文化財調査室の移転

令和8年度の北九州市立埋蔵文化財センターの移転に伴い、現センターに入居している埋蔵文化財調査室も合わせて移転する。

移転先：八幡東区尾倉二丁目6番5号（旧八幡市民会館）

移転時期：令和8年度中

V 地域文化の情報提供

公 1-2

公 1-1(5)

1 北九州市芸術文化情報サイト管理運営

市民が気軽に芸術文化に触れる機会のさらなる創出を図るため、閲覧しやすく使いやすいポータルサイトを活用し、芸術文化に関する情報を一元的に広く発信する。

掲載情報については、施設やジャンルのほか、さまざまなシーンを想定した検索機能を搭載するなど、利便性の向上を図り、市民が必要な情報を得やすい環境を整えている。今後は、関係サイトとの連携強化等を通じて、より効率的に情報へアクセスできる環境整備を進める。

収 1

2 書籍の販売等

北九州市に関する各種の書籍を販売する。取扱い書籍は次のとおり。

「火野葦平とゆかりの人びと」、「北九州市の野鳥たち」、「川が変えたまち」、「門司港レトロ物語」等

収 3

VI 寄付制度

市民や企業等が芸術文化活動を支える仕組みを設け、財団の多様な財源確保および認知の拡大を図る。寄付等による支援は、自主事業の充実等に活用し、地域における芸術文化の振興とその持続的な発展を推進する。